

鹿角市地球温暖化対策実行計画・鹿角市エネルギービジョン
令和 5 年度事業の実施状況について

対策 1 再エネ電気メニューへの切替

内容：かづのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来の CO2 を削減します。

削減目標：4.62 万 t-CO2、対策目標：市内電力需要の 50%、約 8,700 万 kWh の切替

<実施状況>

①成長に見合った連携の実施

かづのパワーの地産電源の確保に連携して取り組み、R5 年度から大沼地熱発電所の一部電力の調達と需要家への供給を開始した。

②再エネ電気利用の推進

令和 5 年 9 月末時点で公共施設 56 箇所、民間施設 5 箇所に契約を拡大（令和 5 年 3 月時点、公共施設 52 箇所）。今後も、契約施設増加に努めていく。

③地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）（以下、「重点対策加速化事業」という）を活用し、かづのパワーへ供給する「地域向け電源」して市の遊休地 2 か所で太陽光発電を実施する事業者を公募中。

④促進区域及び地域脱炭素化促進事業について

再エネ発電事業を促す「促進区域の指定」及び促進区域内で実施する「地域脱炭素化促進事業」の認定する仕組みを令和 5 年度中に整えるとしていた。促進区域の指定の際に参考とする県の環境基準の設定が今年度中となる見込みであることから、促進区域の指定については令和 6 年度に延期とする。

現時点では、促進区域を設定する電源は太陽光発電とすることを想定している。促進区域の指定を鹿角市全体とするか、個別事業ごとに指定するかについては検討中である。

対策2 自家消費型再エネ電源の導入

内容：自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来のCO₂を削減します。

削減目標：0.63万t-CO₂、対象目標：太陽光10,000kW、木質バイオマス320kW

＜実施状況＞

①公共施設への再エネ設備の導入

市内公共施設52箇所について、環境省の計画づくり事業補助金を活用し、太陽光発電設備の導入可能性調査を実施中。

導入についてはPPA方式を想定し、PPA実施体制の構築や課題の整理を行う。

令和6年1月末までに調査完了予定。

②再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

市民・企業の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用を補助する制度を創設した。

対策3 EVへの切替

内容：EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO₂を削減します。

削減目標：1.19万t-CO₂、対策目標：市内車両の20%、旅客3,700台、貨物1,300台

＜実施状況＞

①COMSを活用したEV体験会・展示会の開催

一人乗りの電気自動車COMS（以下「コムス」）を活用し、7月23日（日）にコムス試乗会及び市内ディーラーによる電気自動車等の展示会をあんたらあにて開催。41人がコムスに試乗し、電気自動車購入の可能性調査と機運醸成を図った。



②コムス貸出実証

コムス2台を企業や団体に広く貸し出し、モニター調査を行い、EV 転換への関心と理解を深める。

対策4 省エネ設備への更新

内容：省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO₂を削減します。

削減目標：0.2万t-CO₂、対策目標：市内電力需要の2%、約370万kWh/年

<実施状況>

①省エネ診断の推進

花輪小学校、まちなかオフィス、鹿角市交流プラザ（MIT PLAZA）の省エネ診断を実施中。省エネにつなげるほか、成果を公表し市内事業者の省エネ診断実施を啓発する。

②省エネ設備への更新

・省エネ設備等更新支援

光熱費の削減や温室効果ガスの排出量削減を図るため、国の電力・ガス・測量等価格高騰重点支援地方交付金を活用し「鹿角市省エネ設備等更新支援補助金」による支援を、令和4年度に引き続き実施した（補助要件等は参考3参照）。

令和5年9月末時点で20件の申請があり、総事業費約3,030万円、補助交付決定額1,452万円、CO₂削減量は年間66.87トンとなる見込みである。予算はまだあるため、引き続き募集を続ける。

(令和5年度9月末申請状況)

件数	CO2削減量 (t-CO2)	総事業費 (円)	交付決定額 (円)
20	66.9	30,342,216	14,520,000

更新機器	件数	平均エネルギー削減量	平均CO2削減量 (t-CO2)	平均総事業費 (円)
空調(電気)	9	7,658kWh	4.0	1,308,640
空調 (LPガス⇒電気)	1	205 m ³	1.13	126,456
照明	4	8,483kWh	4.5	1,999,475
冷蔵冷凍庫	4	4,295 m ³	2.3	1,504,250
その他(エレベータ、発電機等)	2	2,331kWh	1.2	2,211,550
総計	20	電気 6,235 kWh LPガス 205 m ³	3.3	1,517,111

・公共施設のLED化

十和田市民センター、交流センター、花輪さくら保育園のLEDの実設計と工事を実施。

対策5 建物の熱対策

内容：断熱改修やZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来のCO2を削減します。

削減目標：0.66万t-CO2、対策目標：66件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入
木質バイオマス熱利用3件

〈実施状況〉

①木質バイオマス熱利用の導入支援(再エネ推進交付金事業)

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する制度を創設した。令和5年9月末現在で4件の申請があった。

対策6 適切な森林管理

内容：森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減目標：吸収量 14.8 万 t-CO₂ を維持

対策目標：森林経営管理計画のカバー率 100%

〈実施状況〉

①森林経営管理計画の推進

管理計画に基づく森林管理業務に係る委託について、10 月にプロポーザルを実施予定。

②再造林の推進

再造林等について補助を実施し、2 件、面積 43.03ha について交付決定済みである。

③間伐の推進

搬出間伐に必要な路網整備に対して補助を設けており、今年度は1件の実施を見込んでいる。

④林業人材の育成

林業大学生への家賃補助、新規就業雇用事業への補助する制度を設けている。新規就業雇用事業については今年度7人分について補助を実施予定である。

対策7 その他脱炭素行動の促進

内容：節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、CO2削減行動に努めます。

削減目標：なし、対策目標なし。

＜実施状況＞

①普及啓発講座の開催及び普及啓発パンフレットの作成

脱炭素に関する理解を深めるためカーボンニュートラル普及啓発市民講座の開催及び普及啓発パンフレットの作成を株式会社 Give First へ委託（コンペにより選定）。講演会・先進地視察を4回開催予定。

	内容	講師	日時場所	参加者数
第1回	講演1 鹿角の皆さんと考える地球温暖化と未来について 講演2 サステナビリティ（持続可能性）の見える化とは	講師1 ㈱国立リベラルアーツ 代表取締役 三輪純平氏 講師2 サステナブル・ラボ㈱ CFO 貴志優紀氏	8月26日（土） 10:30~12:00 鹿角市交流センター	12人
第2回 （予定）	再エネと地域共生の先進事例視察	—	10月19日（木） 10:00~17:00 姫神ウィンドパーク	—
第3回 （予定）	鹿角の新たな価値を求めて～自然との共生を地域創生へ	講師1 環境省東北地方環境事務所地域脱炭素創生室 嶋田章氏 講師2 三菱地所 xTECH 運営部ユニットリーダー 堺美夫氏 講師3 ㈱国立リベラルアーツ 代表取締役 三輪純平氏	10月20日（金） 13:00~15:00 文化の杜交流館コモッセ	—
第4回 （予定）	生物多様性について（予定）	（選定中）	12月予定	—

②「CO2排出量の見える化」の推進

脱炭素行動に取り組む事業者の申請を受け、市が公表する「脱炭素行動事業者認定制度」を創設した（10/1開始）。脱炭素に取り組む事業者を「見える化」するほか、優れた取組をした事業者を表彰することで、事業者等をはじめとする市民の温暖化防止への取組意欲を広く醸成する。

※昨年度の協議会では「ゼロカーボン協力事業者の募集」として説明した取組

③エネルギー新産業育成プロジェクト（再エネ水素の利活用）

本市の豊富な再生可能エネルギーを活用して水素を製造し、化石燃料の代替や電力の

貯蔵などに利活用するため実現可能な方法の調査を行ってきた。

令和5年度は事業性評価をみらいえね企画合同会社に委託して実施。導入費が水素関連設備で約1億円（太陽光発電設備導入費除く）と非常に高額になる見込みであることが判明したことから、利用可能な補助金等について調査中。

【事業の概要】

谷内地区市民センターに自家消費型太陽光発電設備（導入可能性調査を実施中）を設置し、その余剰電力で水素を製造、貯蔵する。

太陽光が発電しない夜間等に水素から発電した電気で施設内電力を賄う。

水素をMCHで貯蔵し、輸送して他の場所で熱・電気・動力として活用する。

